

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 神奈川県園芸協会
要望問題名 オージープランツ等有望樹種の特性検定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 植木生産においては、常に新たな樹種の導入が求められている。貴センターにおいても継続的に品種育成に取組み、県育成品種のハナモモ 照手シリーズやサルスベリ ディアシリーズは広く利用されている。 近年では、敷地面積や建築様式の変化に伴い、洋風、低～中木、常緑で、メンテナンスの容易な樹種の需要が高く、また温暖化等気候変動によって、県内が栽培適地である樹種も変化してきている。 オージープランツには、上記の条件に合致する樹種が多く、これまでにかなりの品種が導入されてきたユーカリ、アカシア、プロテア等の他、最近ではグレベリア、メラレウカ等も生産が増加している。 これらの樹種は、高温、乾燥に耐性を持つものが多いが、耐寒性、耐湿性には樹種、品種間差が大きいと思われる。 そこでこれらの中から、県内の栽培に適した、観賞性の高い樹種、品種の選定をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	オージープランツについては、今後需要の拡大が見込まれますが、要望の樹種や品種が多岐に渡っており、当所で試験材料を収集することは困難です。生産者のニーズや生産状況が不明確なため、実施不可とさせていただきます。 また、オージープランツの栽培特性等については、情報収集し必要に応じて情報提供させていただきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			